

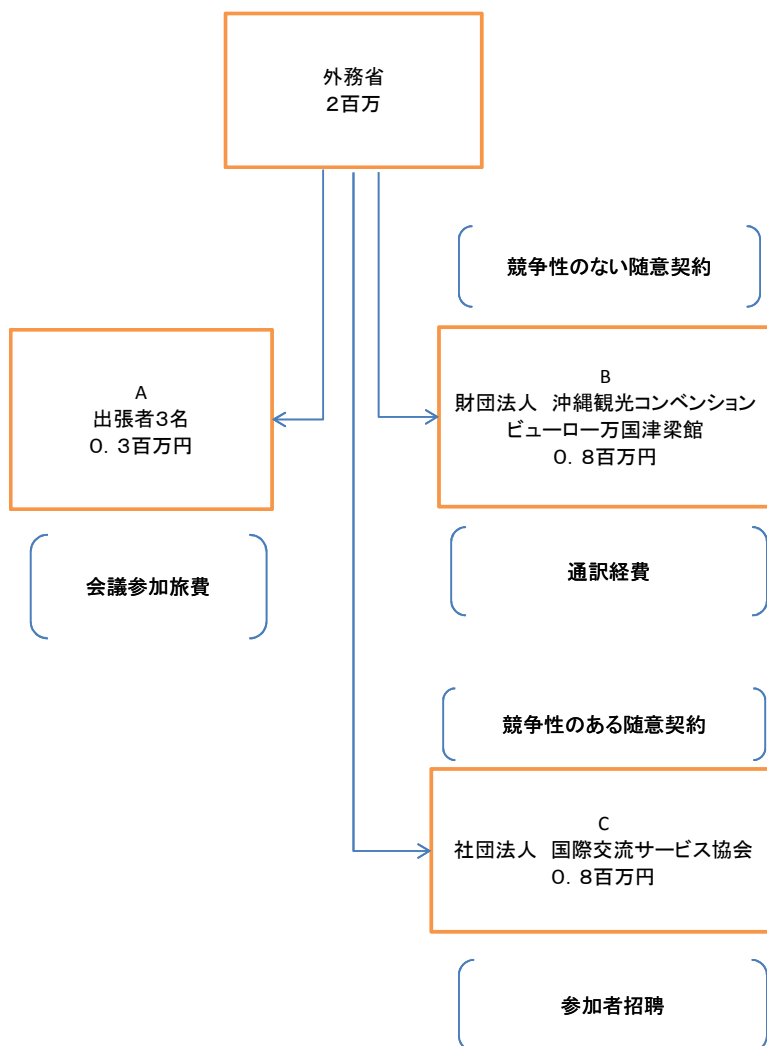
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日米クリーンエネルギー協力経費	担当部局庁	北米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始	担当課室	北米第二課	課長 大鶴 哲也				
会計区分	一般会計	施策名	I-2 北米地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項ロ、第二項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日米首脳会談で合意した日米クリーン・エネルギー技術協力の一環として、「沖縄-ハワイ・クリーン・エネルギー協力」に関する日米協力を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2009年2月の日米首脳会談で合意したクリーン・エネルギー技術協力の一環として、2009年11月の日米首脳会談で発表した「ファクトシート：日米クリーン・エネルギー技術協力」で設置された沖縄・ハワイトaskフォースへの参画等を通じ、「沖縄・ハワイ・クリーン・エネルギー協力」に関する日米協力を推進する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算			6	2	4	
		補正予算			—	—		
		繰越し等			—	—		
		計			6	2	4	
	執行額				2			
	執行率(%)				30.2			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	22年度においては日米のクリーン・エネルギーに関する政府・自治体関係者や専門家のみならず、沖縄県民も参加した形でのワークショップを実施し、日米間のクリーン・エネルギー技術協力についての理解を深める。23年度においてはワークショップは行わず、今後の協力の方向について沖縄や米側と意見交換を行う。		成果実績	人			100	
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	22年度においては、10月に沖縄において経済産業省及び沖縄県と共催という形でZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)に関するワークショップを開催した。		活動実績 (当初見込み)	回			1 (1)	— ()
単位当たりコスト	2(百万円/ 回)		算出根拠	実績額÷実績回数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	2,415	3,419	旅費の増額及び調査委託経費の新規要求による増				
	調査委託	0	840					
計	2,415	4,259						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	22年度においては、当初、沖縄県において当省独自のワークショップの開催を計画していたが、関係省庁との調整の結果、関係省庁においても同種の事業が計画されていたことを受け、効果的・効率的に事業を進めるとの観点から、経済産業省及び沖縄県と共催という形で、10月にワークショップを開催した。これに伴い、当省予算執行の効率化を図ることが可能となった。23年度においても本事業の実施にあたっては職員の出張に際して可能な範囲で安価な航空券の購入に努める等、予算の適切な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	会議参加旅費	0.3			
	計		0.3	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	通訳経費	0.8			
	計		0.8	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	専門家招聘費	0.8			
	計		0.8	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人 A	打合せ及び会議参加	0.1		
2	個人 B	打合せ及び会議参加	0.1		
3	個人 C	打合せ及び会議参加	0.1		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)沖縄観光コンベンションビューロー万国津梁館	通訳業務委託	0.8	随意契約	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	専門家招聘業務委託	0.8	随意契約	97.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					